



2024年2月14日

各 位

会 社 名 ウルトラファブックス・  
ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 吉村 昇  
コード番号 4235 (東証スタンダード)  
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 高野 美香  
電 話 番 号 042-644-6515

### 中期経営計画策定に関するお知らせ

このたび、2024年12月期を初年度とする新たな中期経営計画（2024年度～2026年度）を策定いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

2023年12月期は、2023年2月14日に発表した中期経営計画（2023年度～2025年度）に基づき諸施策をすすめてまいりました結果、業績につきましては、本日、同時に発表いたしました2023年12月期決算短信（連結）の通り、売上収益・営業利益はほぼ期初予想通りの着地となりました。

当社は、経営環境の変化に迅速に対応するため常に今後3カ年を見据えた経営計画を策定していくこととしているため、ここに新たな中期経営計画（2024年度～2026年度）を策定いたしました。

#### 2024-2026 中期経営計画

2026年12月期業績目標：売上収益307億円 / 営業利益51億円 / EBITDA 72億円

- ① エリア・用途・顧客など売上収益源の多様化
- ② パートナー戦略による生産能力増強
- ③ サステナビリティの重視
- ④ 収益性の維持改善

詳細につきましては、添付資料をご参照願います。

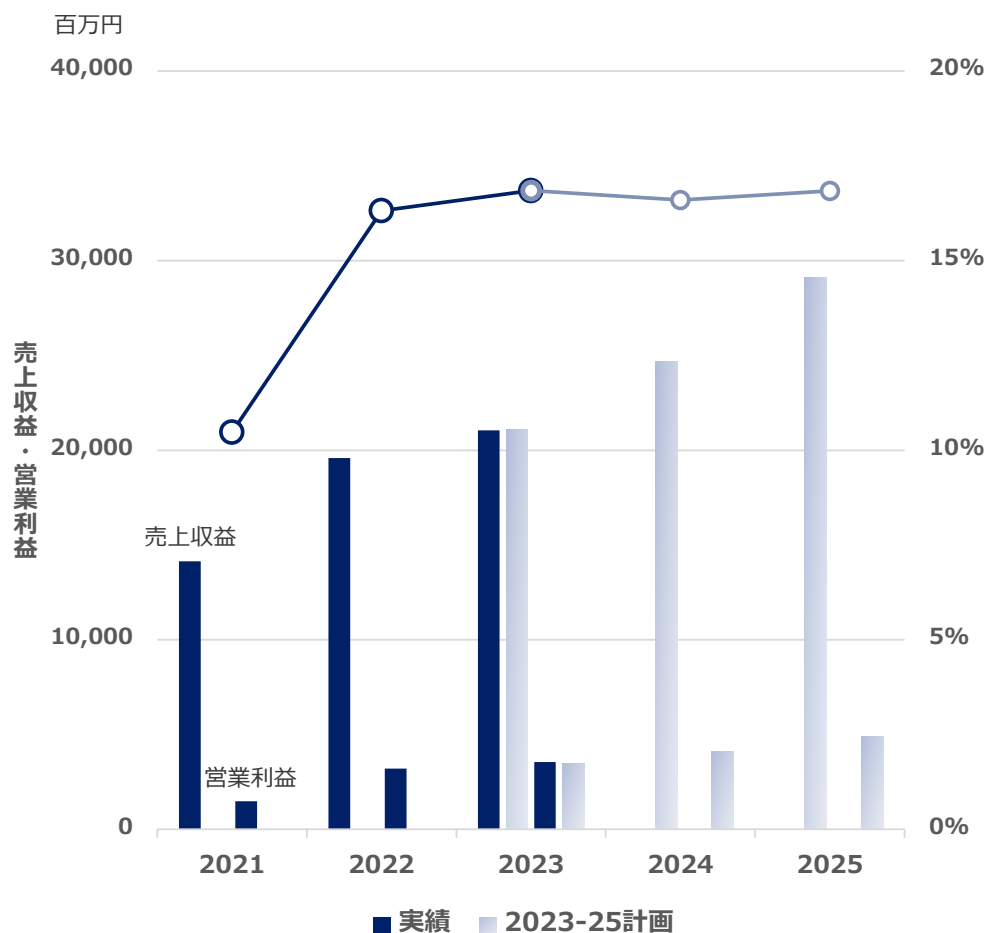
本件についてのお問い合わせは、当社経営企画部長 高野(042-644-6515)までお願いいたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

# 2024-26 中期経営計画

# 2023-25 中期経営計画の振り返りと進捗状況



## ▶ 2023年度は概ね計画通りの着地

### ▶ 売上収益源の多様化に向けた体制整備

- ・ レジデンシャルアウトドア向け営業体制の強化
- ・ 欧州における販売体制を強化

### ▶ 協力企業による生産能力拡大に向けた取り組み

- ・ 国内協力企業による最終製品の出荷開始
- ・ 海外協力企業との生産体制構築の検討開始
- ・ 緊急時における代替生産能力の確保

### ▶ サステナビリティ

- ・ サプライヤーに対する人権・企業倫理指針の共有

## ▶2023-2025中期経営計画（2023-25）からの追加・変更点

### • 売上収益源の多様化/分散

- 地域：北米中心から欧州向けにも注力
- 用途：成長ドライバーを自動車依存から各用途での成長を目指す  
家具においてもオフィス・ヘルスケア集中から住宅向けにも注力
- 顧客：新規顧客を開拓により、特定顧客への依存度上昇を回避

### • 戦略経費の設定

- R&D費用：開発力強化に向けた体制強化のため、2025年より対売上収益2%を確保（2023年度：同1.2%）
- サステナビリティ関連費用：CO2削減に向けた投資・費用の増加等のため、2025年より対売上収益1%を確保

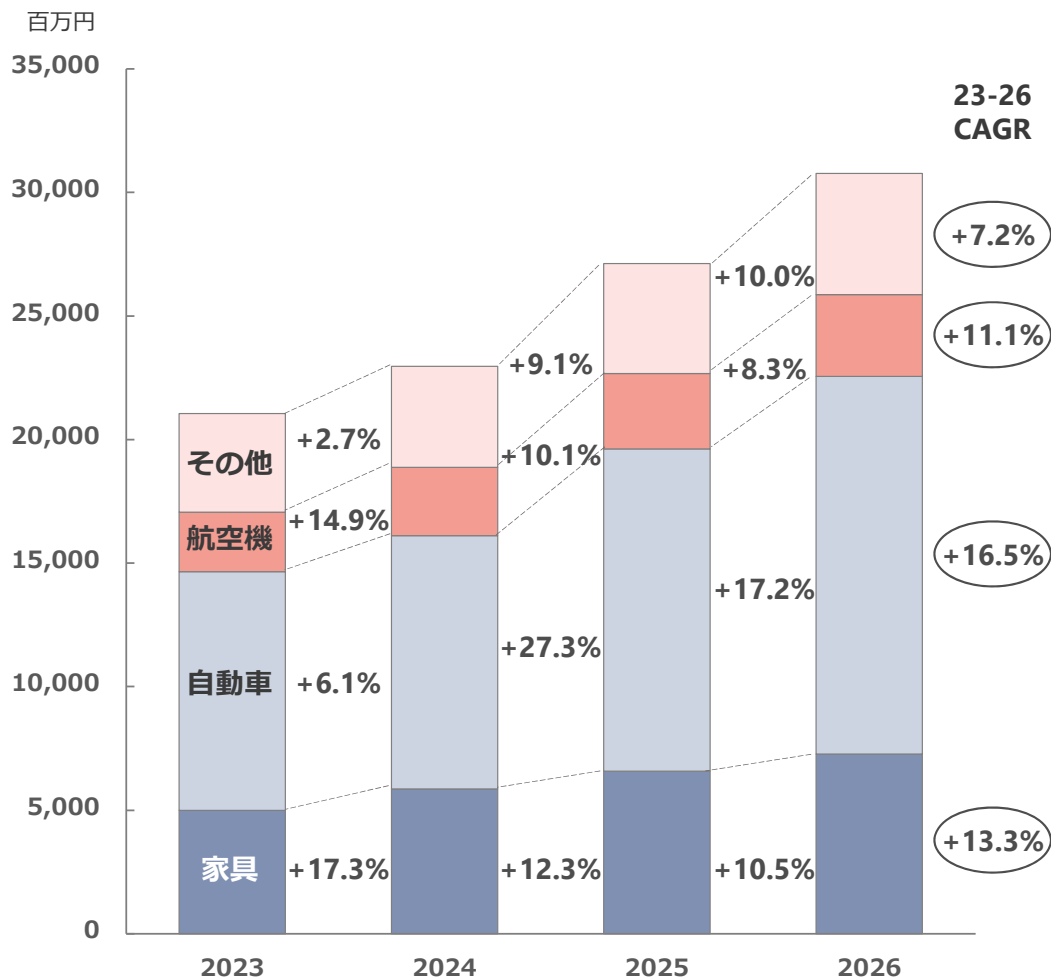
### • 為替前提：140円/\$に変更（前中計125円/\$）

# 2024-26 中期経営計画 方針・戦略

## ▶ 基本的な方針・戦略は2023-2025中期経営計画から変更なし

		施策	進捗状況
売上拡大	エリア拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州販社の組織拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人員増強とトレーニングは概ね完了</li> <li>2026年には売上の約2割を欧州で獲得</li> </ul>
	用途・チャネル拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>未開拓市場への着手</li> <li>- レジデンシャル</li> <li>- (家具向け) 卸業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レジデンシャルアウトドア向け製品を戦略製品に設定</li> <li>ターゲット顧客を定め、人員増強済み</li> </ul>
	顧客分散	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規顧客（特にEV）に向けたシートプログラムの獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州系OEMのEV向け新規プログラムの獲得に向けた動きが進行中</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州・アジアパシフィック系エアラインへの拡販</li> </ul>			
生産能力増強	パートナー戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内協力企業へ生産サポート・品質管理体制強化</li> <li>海外生産体制構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内協力企業による最終製品の出荷開始</li> <li>海外協力企業との生産体制構築の検討開始</li> </ul>
サステナビリティの重視 ⇒Ultrafabricsを サステナブルなブランド として確立		<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオ/リサイクル原料によるサステナブル製品の開発</li> <li>生産工程におけるサステナブル目標達成に向けたサステナブルプラント化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発・品質管理体制の高度化に向けて体制強化中</li> <li>千代田工場におけるサステナブルプラント化</li> <li>R&amp;D・サステナビリティ関連費用を戦略経費として設定</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤー・協力企業とのサステナブル目標の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤーに対する人権・企業倫理指針の共有</li> </ul>
収益性の維持改善		<ul style="list-style-type: none"> <li>製品別ポートフォリオ見直しに向け損益管理体制の整備</li> <li>生産効率の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理会計システム導入中</li> </ul>

# 2024-26 中期経営計画 用途別売上計画



## 家具

- ヘルスケア・オフィス向けに加え、住宅向けも強化
- 販売チャネル（卸売業者）・エリア（欧州）の多様化を推進

## 自動車

- 既存大手顧客向け売上増加に加え、欧州EV向け新規プログラムの獲得を目指

## 航空機

- 米系中心からアジアパシフィック系・欧州系エアラインも強化

## その他

- 欧州市場にも注力

# 2024-26 中期経営計画 用途別売上計画 ～航空機向け～

## ▶ 軽量

- 本革・塩ビの1/2～2/3の重量であり、燃料消費とCO2排出量の低減に寄与

## ▶ 戦略製品『Atago』

- 1シート当たり1ポンド（約450g）軽量
- 難燃性の高い素材を使うことにより、シートの構造を簡素化

## ▶ Solution提案

- 効能の異なる製品を組み合わせることで提案することにより、様々な顧客ニーズに対応

## ▶ アジア・パシフィック系、欧州系エアラインへ拡大

## ▶ 他用途に比べ、相対的に高い収益性

## ▶ 数年おきの張替需要



# 2024-26 中期経営計画 業績目標

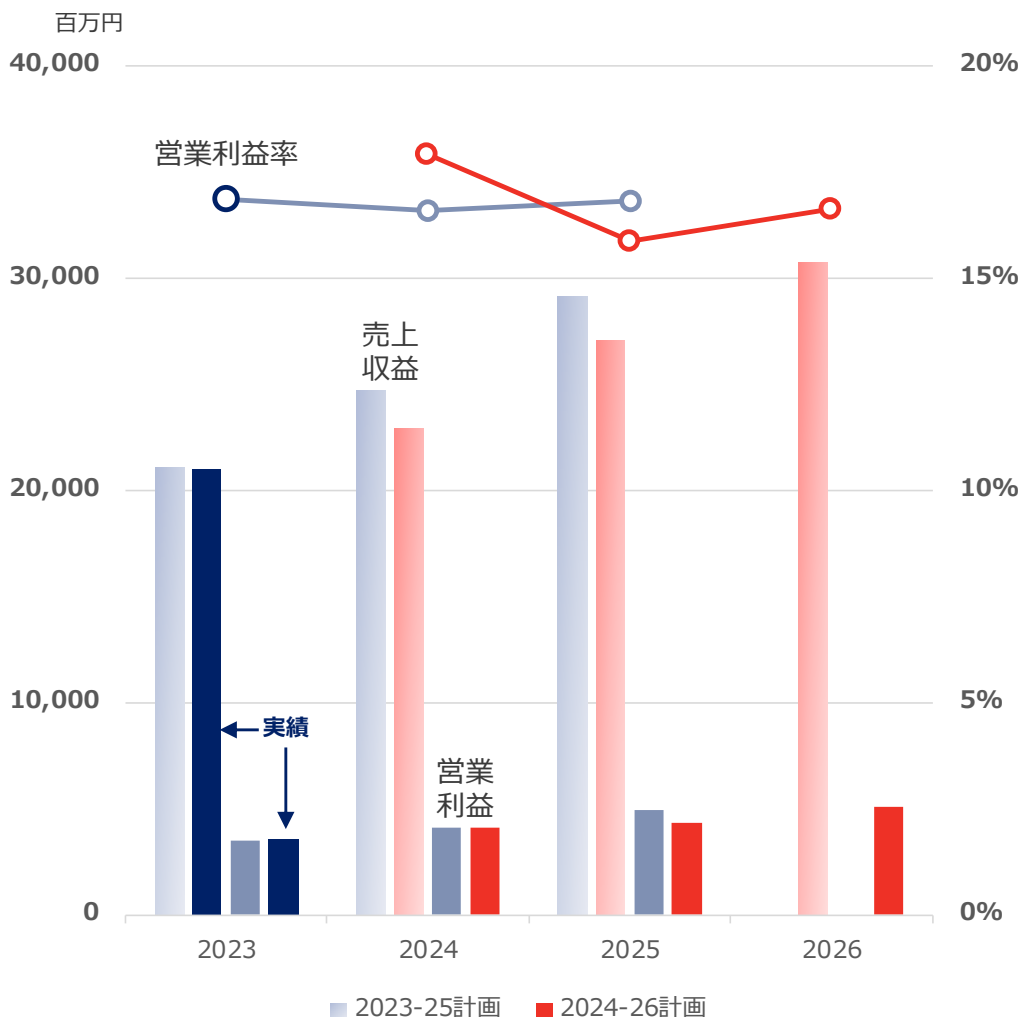
	百万円				
	実績 2023年度	中期経営計画			
	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
売上収益	21,045	22,900	27,100	30,700	+13.4%
売上総利益	11,048	11,800	12,800	14,100	+8.5%
営業利益	3,546	4,100	4,300	5,100	+12.9%
税引前当期利益	2,892	3,500	3,700	4,500	+15.9%
当期利益	2,375	2,400	2,600	3,200	+10.4%
EBITDA	5,186	6,000	6,600	7,200	+11.6%
					(2026 vs 2023)
売上総利益率	52.5%	51.5%	47.2%	45.9%	-6.6pt
営業利益率	16.8%	17.9%	15.9%	16.6%	-0.2pt
EBITDA率	24.6%	26.2%	24.4%	23.5%	-1.2pt
ROE	16.7%	14.5%	13.7%	15.2%	-1.5pt
完全希薄化ベース株式数* (千)	19,042	19,683	19,879	20,520	-
1株当たり当期利益 (円)	124.7	121.9	130.8	155.9	-
前提為替レート (円/ドル)	140.6	140.0	140.0	140.0	-

\*分割調整後



- ▶ 2024年度は売上収益229億円（前期比108.8%）、営業利益41億円（同115.6%）、当期利益24億円（同101.0%）と予想
  - ・ 米国経済・為替動向など懸念材料はあるものの、民間航空機向け売上の成長、前期在庫調整の反動、住宅向け・卸業者・欧州向け強化による家具向けの増収が寄与
  - ・ アウトソーシング生産の増加により売上総利益率は低下するものの、販管費コントロールにより営業利益率は改善
  - ・ 前年の移転価格税制による実効税率大幅低下の反動により、当期利益は小幅増益に留まる
- ▶ 2025年度は次の成長ステージに向けた雌伏の年
  - ・ 売上収益には欧州EV向け売上の貢献を織り込む
  - ・ 千代田工場稼働による減価償却費やサステナビリティ推進費用の増加により売上総利益率が低下して、営業利益率が低下。小幅増益に留まる
- ▶ 3年間の年平均成長率は売上収益+13.4% 営業利益+12.9%となる見通し
- ▶ ROEは一旦低下するも資本コスト(11.5%)は上回って推移し、2026年度には15%台を回復

# 2024-26 中期経営計画 2023-25 中期経営計画との比較



▶ 2024年の利益予想は変更ないが、  
2025年度については引き下げ

- 為替前提の変更

- 125円/USD⇒140円/USD

- 販売数量見通しの引き下げ

- 2023年実績が期初予想から下振れ
- 自動車向けで顧客の生産台数見通しを引き下げ、一部プログラムの終了

# 2024-26 中期経営計画 キャッシュフロー・配当

百万円

	実績		中期経営計画	
	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
営業キャッシュフロー	2,929	4,600	4,200	5,000
当期利益	2,375	2,400	2,700	3,300
原価償却費及び償却費	1,598	1,500	1,900	1,700
運転資金増減	353	-100	-1,300	-900
投資キャッシュフロー	-2,034	-4,600	-800	-700
財務キャッシュフロー	-1,394	-100	-3,700	-4,100
トータル・キャッシュフロー	-499	200	-300	300
ネットD/Eレシオ	0.8	0.7	0.6	0.4
1株当たり配当金 (円)				
普通株式	39	39	-	-
優先株式	85	85	-	-
配当金総額	715	715	-	-
配当性向	30.1%	29.8%	-	-

- ▶ 3年間の営業CFの合計は138億円
- ▶ 千代田工場に設置する機械設備投資33億円、既存工場の更新投資・R&D関連投資16億円で3年間の設備投資は計48億円。  
うち、16億円を太陽光パネルや水素ボイラーの設置などサステナビリティ目的の投資に充当
- ▶ 海外生産体制整備のために12億円の投融資を想定
- ▶ 千代田工場設備投資は新規借入でまかなうが、既存借入金の約定弁済を進めて有利子負債残高は減少し、ネットD/Eレシオも改善する見込み
- ▶ 2024年まで高水準の設備投資需要が継続することから、創出する利益を投資・内部留保・株主還元バランスよく配分することを念頭におき、配当性向は概ね30%を目処とする。  
2025年以降は新たな資金需要がなければ、配当性向の引き上げも検討
- ▶ 2024年度の一株当たり配当金は、当期利益が前年並みであることから、普通株式で39円とする見込み